京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

國体を傷く勿れ（中）

牧雲子投

以上「プル」學者の杜選なる言論に依りて、神聖なる國体を損傷して引て累を敎育上に及ぼすとあらば其影響する所や多大なるものであらふ、而して知らず識らずの間に敬神的自然美を失ひ、國民の元氣を消耗し盡して、義勇奉公の念を沮喪するとなきやも保し難しである、頗る顰蹙に價ひすべきものがあるまいか。

考古的研究は何人も拒否するとは出來まい、然れども幾千年來彌やが上にも附きたる金箔を強て剝がすの要もあるまい、否吾々國民としては、剝げたる箔をも補修する義務があると思ふ、神秘的のものは神秘的に存して置くも差閊はない筈である、いや決して神秘的ではない、孔子も由や我女に知るを敎へん之れを知るを知るとせよ、之れを知らざるを知らずとせよ、之れ知るなりとされた、で予は思ふ、研究も事と種に因りて、程度の問題である、餘りに深く穿ち過ぐれば、零にならぬとも限らぬ。

世には一人として俺が親は穢多であると名乘り揚げるものは有まい、少なくとも素性を包むが常である、畏くも我が日本の神代に沂りて、韓人種であるとか、滿人種であるとか、妄りに斷定してアタラ尊嚴を削ぐは、自ら鄙しめて而して國家を賊するものと云ふべし、唯さへ韓人の多くは日本の同胞を輕侮せる傾き有るにも拘らず、日本に於て無上に尊崇する神々は、元と韓人種であるなどと公言せば、益々手におへぬしろ者となり了るであらふ。

佐倉宗吾

（百卅二）　眞龍齋貞水講演

此女中を御手討になりましたに就ては餘程堀田の重役も心配をして、親元へは御手討とは云はぬで、急病で死んだと云ふ事にして、十分手當をして内濟に致しました、所が益す殿は怪しい事を仰つしやつて　殿「ソレ其處に宗五郎が居る……ア、彼處に宗五郎の妻美禰が居る」と、動ともすると刀を拔いてフッと柱へ斬付ける、既う御家來が御手討になつた者が兩三名ございます、晝夜臣下一同は眠らず致して看護をする内に漸うの事で隙を窺ひ御瞞し申して大小を取上げて仕舞つた、既う御氣が狂つて居らつしやるに依つて、何もかも夢中だから、木刀の大小を拵ねて置く「又來たッ」と御立上りになる、加持祈禱をして、家中の者は毎日眉を顰めて、如何なる事かと、案じ煩らつて居ります、家來は折々木刀で打挫ちかれるが、急所を避けさいすれば、痛い位で濟な、其内に成田山新勝寺大日大聖不動明王の護摩を焚いて怨敵退散の祈禱を上げる、すると神の御利益は廣大なものでございまして、段々殿様の其あら〳〵しき御亂行が御鎮りになると、スヤ〳〵、スヤ〳〵、御眠りに成る、そこで一同の者が少しく心を安めまして、先づ是で宜いと、喜びの眉を開いて、此まゝ御全快になれば、何の障りもないと思ふ内に、殿様はホロリ〳〵と涙を流し　殿「ア、今更とんだ事を致した、彼の所の磔刑に行はぬでも宜かつた、ア、とんだ事をした」と仰つしやつてホロリ〳〵と御落涙を遊ばす、御家來方が看護いたして居つて、何か殿が御泣きになるやうだが口の中でゴ[illegible]〳〵云つて居らつしやるから、能くは分りませぬが深更などに至つて耳立つて居ると涙を御流しになつて　殿「宗五郎は可愛さうなものだ、子供等まで死刑に行ふのでなかつた、とんだ事を致した」と云つて居らつしやる、愈よ殿様は、御氣が御鎮りに成つたやうだ、此まゝ御全快になつたらよからうと云つて居ります、幸ひにも御全快と云ふ事に成つたのが、九月中旬でございます、御床の上へ御起き遊ばして、御氣が落付いて居らつしやるから一同も安心して居ります、今まで御病氣で居らつしたから、御愛子正五郎殿にも御面會がなかつた此正五郎殿は、當年御八歲であります、恰度今御家來が御附に申して御庭の築山を昇つたり降りたりして遊んで居らつしやるのがヒヨイッと御眼に止つた　殿「ア、彼は正五郎か　○「御意にございます」　殿「長らく病氣でありしに依つて全然正五郎にも合はぬであつた、斯りや正五郎を此處へ」と仰つしやる　○「若様、御殿様が御喚び遊ばしまする、早く此方へ入らせられよ」と御手を曳いて、家來が靴脱の御石の處まで參り、御椽端へ御手を突かせられまする　正「御父様、召されましたか」と、仰つしやると　殿「ア正五郎、暫く合はぬであつたな、父は病氣であつたから、其身にも逢はなんだ、宜う温和しくして居る」有繁御氣が弱しくとも、御親子の御情愛、御立上りにならうと唱はすから、御家來が御危うござると御止め申すと、ヒヨロ〳〵ッと立上られますから　○「アレ御危うございます」と云ふのを動搖く足を踏止め　殿「正五郎、抱いて遣はす」御抱きになりますから、喜んで御縋り申すと突如抱き上げるや否や　殿「人に思ひがあるものか無いものかッ」スポッと其正五郎殿を、逆さまに突いたから、ウンと靴脱の石で脳骨を碎かれ、其まゝ御落命になつた初めて氣が附いた堀田上野介　殿「ナニ正五郎を予が殺した、ア、とんでも無い事をした」ホロ〳〵泣いて御居あそばす、すると當年十六歲になる御美人で居らつしやる御姫様が、お稲様と申し上げました



廣告

龍　最上醤油

齒科專門醫院
京城本町二丁目百卅銀行横
齒科醫勳六等　野田應治
（電話一〇四七番）

夏季飲料
ブランデー・ブドー酒・ウイスキー・シャンパン
キリンビール・金線印サイダー・シガー・シガレット
御小賣
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　金銀細工美術品
直輸入商
京城本町二丁目　同三丁目
辻屋
本店電話二四八番
支店電話三六六番

中元聯合大賣出し
自本月十一日
至同　二十日
正札より現金に限り壹割引
其外見切反物並によせ切に限り割引なし
吳服商組合

林吳服店　京城本町四丁目　電話六五二番
山枝吳服店　京城本町五丁目　電話一二四番
山口吳服店　京城本町四丁目　電話九番
丸一洋反物店　京城本町三丁目　電話六三五番
圓城吳服店　京城本町三丁目　電話一五七番
惠阪吳服店　京城本町二丁目　電話七二六番
末永吳服店　京城本町四丁目　電話六八二番

奥備半衿帯上
其他紐類各種
京城明治町一丁目
金ゑり徳商店

司法權の委任說

京城新報

國民の生命財産を安固にし、國民の是非曲直を明にし、其政治に信頼せしめ各其業に勵ましむるには司法制度をして完全ならざる可らず、若し司法制度にして完全ならず、法官は賄賂請託の爲に法を曲げ、良民常に怨嗟の聲を放ち、或は罪なくして獄裡に呻吟するが如き事あらば、國家の福利増進は得て望む可らず、然るに韓國の司法制度は五百年來全然行はれず、良民は常に怨嗟の聲を呑みつゝありき、我保護政治の實施以來司法制度は大に面目を革め、其外形に於ては稍々完全に近きものとなれり、然れども韓國政府に直隸する爲め司法官其人等の技能を充分に發揮する能はず、此儘に經過すれば或は退歩すること無しと雖からむ。伊藤前統監が保護政治を施設するに當り、先づ韓國法部を革新し、新に三審制度の裁判所を構成し、其要所々々に邦人司法官を配置したるは、是れ一は在留外人をして韓國裁判に頼らしむる準備にして、一は我理事廳裁判及法務院を廢して韓國裁判に頼らしむる事に志ざしたるも、實際に於て斯くすれば治外法權の撤去にも便利なること決して少しとせず、然れども在留外人と云ひ在留邦人と云ひ縦令司法官其人が日本人なりとも名義上韓國裁判に向て自ら治外法權を棄てゝ之に頼ることは頗る疑問なりとす、茲に於て彼の外交や逓信事業の如く韓國政府をして全然帝國に委任せしむるを可なりとす、而して我法律を其儘適用するとせば [illegible] 彼の警察權を [illegible] 司法權の委任を我に受くるとするも韓國人に對しては強ち我法律を適用するにも及ばざ [illegible]
聞く伊藤前統監は茲に見る處あり其最後 [illegible] 以て如何なる協約の許に司法權の委任を受くることになれるかを知る能はずと雖も、果して一せらるべし、是れ韓國民の福利増進に資する所決して尠少ならざるなり、余輩は一歩を進めて行政司法等全部の委任をなさしむるを以て韓國の繁榮發展を計る上に於て最も捷徑なりと信ずるものなり

宰相辭職聽許

伯林電報

獨逸宰相の辭職聽許みとなり本日別の謁見をなせり(十四日伯林東京經由)

清政府の意嚮

東京電報

清國政府は安奉線に關し行政權の回收と交換的に又郵便規約はポスト郵便撤去を條件として解決せんとの意ありと

援助者の行賞

韓國暴徒討伐隊を援助せる陸軍通譯、統監府鐵道管理局、通信管理局、衛戍病院看護人、馬卒等の論功行賞は八月中旬發表の運びに至るべく而して受賞者は二百名內外にして外に八百名は陸軍大臣より慰勞金の下附あるべしと

企業團の定款

對淸企業團にては昨夜官民合議の上定款を決定したり

勝田局長歸朝

勝田局長水町財務官は本日歸朝したり

酒匂博士葬儀

唯今酒匂舊日糖社長の葬儀執行す會葬者一千名、皆同情の淚を禁じ敢へず悲愴の感に打たる

韓太子の日課

韓國皇太子暑中休暇中の日課は午前六時起床、太皇帝への信書を認め、朝餐の後學課復習、學友と遊戯、夜間は侍從より三國誌の話しを聞かれ十時就寢の定めなるが近時は學業進歩著しく今は既に日本地理の科程は皆終了し日本歷史の初期を學習中にして來年は學習院中學科一學年へ入學の筈なりと

西澤島の調査

西澤島調査の爲め我政府は明石艦を派遣する事に決せり

日宗生命解散

日宗生命保險會社はいよ〳〵解散に決せり(以上十四日發)

雜報

梨本宮大連發

梨本宮兩殿下は安藤大佐渡邊式官櫻井女官外從官二名を隨へさせられ來る十八日大連御出發吉林丸に御乘船仁川に御上陸入京あらせらるべし

伊藤公の出發

豫報の如く伊藤公は十四日午後一時四十分特別列車にて下仁の途に就かれたり之より先き統監邸前通り泥峴通り南大門通りの各戶には國旗を掲げて送別の敬意を表し警察官は諸所に佇立して沿道を警戒し停車場には場の內外を裝飾して美觀を添へ又民間にては煙花を打ち揚げて行をさかんにし時刻迫るや伊藤公にはフロックコートにパナマ帽といふ瀟洒たる裝服にて村田、外波の兩武官及國分、古谷の兩秘書官を從ひ韓國侍衛兵警衛の下に停車場に着し見送人に對して一々挨拶を爲し稍々あつて一聲の汽笛を名殘りに永く漢城を去られたるが此の日見送人は非常にて發京の時と同じく大久保軍司令官、宇佐川總裁、統監府高等官、韓國皇族、各部大臣、民長、民團議員、商會議員、新聞記者、學校生徒等なり

伊藤公仁川着

伊藤公には村田外波兩武官國分古谷兩秘書官日高內大臣秘書官森宮內大臣秘書官及び仁川迄見送り來れる大久保司令官李總理以下日韓文武官の重もなる者と共に豫定の如く午後二時五十分仁川驛に着したり出迎人は信夫理事官宮木仁川稅關長岩崎民長宮舘警察署長各國領事及び民團議員商業會議所議員小學校生徒等なるが一行には着後直ちに朝日樓に於て暫時休憩の后午後五時より八坂公園に於て開催さるゝ新舊統監送迎園遊會に臨みたるが會の順序は最初岩崎民長の新舊統監送迎の辭に次で伊藤公の答辭あり終つて信夫理事官の發聲にて萬歲を唱へ五時半より余興に移り七時半頃より隨意解散したり尙此の日仁川市民は一般に國旗球燈を揭げ新舊統監に對し送迎の敬意を表したり

理事官會議

理事官會議の第二日は十三日開會せられたるが若林警視總監、松井警務局長出席警察事務に關する協議をなしたり

觀察使會議(三日目)

十四日は前日に引續き澤田地方局長議長席に着き左の諮問事項に就き協議する處あり

一、貯金獎勵の方法如何
一、地方財產の狀況
一、府郡合併の件
一、社還米に關する件
一、寺院管理方法

曾禰統監下仁せず

曾禰統監は病氣の爲め仁川の送迎會に臨まざりしといふ

朴泳孝入京無根說

朴泳孝が馬山に來り靜養中にして伊公退京後入京すべしとのことは事實無根にして朴は依然濟州島に在る旨或方へ來電ありたり

勅使の仁川差遣

韓皇は伊藤公見送りの爲め十四日侍從院卿尹德榮を仁川に差遣されたるが又太皇帝は十五日承寧府總管趙民熙を仁川に勅使として差遣されたり

鍋島部長の歸朝

鍋島外務部長は伊藤公と同道十四日歸朝の途に就たり

日韓瓦斯電氣開業

日韓瓦斯電氣株式會社は來る九月より電鐵を別會計とし同社の營業として開始することに決定したり

軍司令官の視察

大久保軍司令官は今回梨本宮殿下の御入京を機として御見送旁々京釜沿線に駐在する守備隊の狀況視察檢閱を行ふ由なるが尙鎭海灣砲兵隊をも檢閱する由往復約一週間の豫定なりと

天氣豫報(自十四日午後六時至十五日午後六時)

南西の風晴

愛國婦人臨時集會

梨本宮兩殿下御入京後三日間御滯在に就き愛國婦人會韓國本部にては妃殿下が本會名譽會員にあらせらるゝに依り殿下の臺臨を仰ぎ日韓會員の臨時集會を開催すべしと

民團の滯納處分

京城民團にては第一期居留民團稅及び月稅の滯納者多くして事務整理上甚だしく困難なるを以て十三日より滯納稅の處分に付き執行を初めたる由

京龍間臨時列車

從來の南大門發午後三時五十分龍山發午後四時十分を中止し十五日より當分の中左の時刻に臨時列車を運轉す

南大門發午後十一時二十分龍山着午後十一時三十一分龍山發午後十一時四十分南大門着午後十一時四十六分

司法權委任協約

韓國司法權を吾に委任せしむる日韓協約締結に就ては去る十一日李首相邸に開催されたる臨時內閣會議に於て高法部、李軍部、李學部の三大臣は强硬なる反對說を主張し遂に內閣總辭職と決定したる由なるも曾禰統監の說諭に依り遂に協約締結の日韓兩國の爲め必要なる所以を會得し遂に十二日夜を以て本問題は解決したり而して同協約の內容は當分發表されざるべしと云ふ(日電報)

協約締結理由

司法權委任に關する協約締結の理由を聞くに伊藤公は初め韓國司法制度を完備し以て韓國に於ける列國の治外法權を撤去する方針なりしが劣等國の司法機關を整備して治外法權を撤去せしむるは到底不可能なるを以て寧ろ韓國司法權を我に委任せしむる方兩國の爲め利益ならんとの事に決し今回別項の協約を締結するに至りたるものなりと尙韓國に於ける我裁判所構成法を發布する筈なるが右は來期帝國議會に提出さるべく夫れ迄は現狀に何等變更なしと(日電報)

軍部廢止決定

步兵及騎兵九百餘名を統轄する爲め特に軍部を置き軍部大臣、同次官、軍務局長其他多數の將校を存置するは滑稽の至りにて之が廢止說は一昨年軍隊解散以來屢々有力者の間に傳へられたる所なるが愈々今回同部を廢し軍部大臣は侍從武官長專任となり又現存の騎兵隊及步兵は別に守衛府を設置し統轄する事に決定したりと日本電通は報せり

吉長線の交涉繼續

清國側の吉長線交涉委員が病氣と稱し突然北京に引上げたるに就ては此先き便々と先方よりの出張を待ちたりとて何時埒明くべくもあらざれば滿鐵委員をして此方より北京に出向はしめ同地に於て交涉を續けしむる筈なりと

清國密漁船減少

平安北道沿海に於ける清國密漁船は今尙其跡を絕たざるも昨年に比すれば大に其數を減じたるが現在漁業に從事する日本漁船は約百三十隻(龍川郡沿海)にして今日迄の漁獲額一隻に付七百圓乃至千五百圓に達し來年の漁期には優に其二倍に達すべしと

元老の招待會

十三日午前十一時過ぎより發洞翠雲亭漢城俱樂部に於て韓國各元老及大臣の催しに係る伊藤公招待會は先づ完興君主人側を代表して一場の挨拶を爲したるに對し伊藤公は左の意味の演說を試みたり

余も日本に於て辱なくも過去三十年間我天皇陛下に咫尺し不知不識の間に至れり蓋し諸公他より元老と呼ばるゝに至れり今日は亦當國に於て均しく余と同一の地位に在りと信ず故に將に諸君の自分に對する親密なる厚誼を諒とするものなり云々尙特に茲に一言を附け加へ諸君の記憶に存せられんことを望む所以は自分は個人的に韓國太子の大師として專ら其の教育に力を致すべきも我日本は即ち韓國の大師なることと是れなり我天皇陛下は韓國皇室の安寧及其國民の幸福を增進せんことに宸念を勞せられ自分は其の聖意を奉して其の目的を達せんことを希望するものなるが故に諸君の意の在る處は日本に歸りて親しく奏聞するのみならず又一般國民にも報告すべし今日韓國の狀況を熟察するに前途猶遼遠なり而して此間に於て日本の韓國に對する行爲にして或は諸君に不快の感を與ふるとなきを保し難しと雖韓國皇室の安寧を圖り國民の幸福を增進せんことを期する上に於て一時諸君が不快に感ずると否とを顧慮し其の時機を逸する如きは將來の利益にあらずと認むる所謂慮を去り實に就かざる可らず虛にして實なきは即ち無用なればなり自分は過日韓皇に謁見の際にも奏上したる次第なるが韓國皇室に對し韓國々民に對し自分一身のあらん限り至誠以て盡さんとする考なれば皇帝に於かせられても亦平素自分の意の在る所を御諒察あることと信ず云々

豫備金支出額

六月中本年度國庫豫備金を以ての補充支出及豫算外支出總額は四十六万六千百九十圓にして內其內譯は內部所管八萬〇百六十三圓度支部二十七萬六千四百八十八圓、法部八百六十八圓學部七千圓農商工部十万七百七十一圓なり

地税臺帳の調製

韓國にては由來地税の臺帳無く隨て其地税を徵收するに當り常に小作人の異動を調査するの必要あるが此異動を調査することを作使と稱する由にて之れが費用は民費を以て支出し一結に付三四十錢を要するに依り全國の地が約百萬結として年々三四十萬圓は徒らに人民の負擔となる譯なれば各税務監督局に於ては韓國の土地調査事業が完成の曉には不完全ながらも土地臺帳を調製し毎年無益に費されつゝある道費を節約するの方法を計劃し本年秋季の作使となす筈

ペストと檢疫開始

日本關門地方に於てはペストの有菌鼠發生せしより釜山港一般に驅鼠を勵行すると同時に釜山稅關にても當分の內驅鼠を勵行する筈なるが尙關門地方に於てペスト患者發生する時は直に檢疫を開始すべく關係領事及理事官と協議決定せし旨釜山稅關長より其筋へ報告ありたりと云ふと

●欠員郡守の任命 目下缺員中なる各郡守は地方官資格審査委員會に於て郡守候補者の資格審査を爲したるが不日夫々任命あるべしと

●各發興官仁川一泊 各發興官は十四日伊藤公を見送りて仁川に至りたるが同地の送別會に臨み一泊十五日伊藤公滿洲丸搭乘後歸京の筈なりと

●日高秘書官滯京 伊藤公と同道來京したる日高內大臣秘書官は本月下旬御下韓あるべき梨本宮殿下御迎ひの爲め滯京したり

●增加憲兵の入城 既報今回內地より增派せられたる憲兵百二十二名は十四日午後三時入城したるが右は凡て京城に駐屯せしむる筈なりと

●慶山の三稅問題 慶山居留民は三稅に對し研究中なりしが既に統監府令を以て理事官に滯納處分權を委附したる今日官廳と爭ふは穩かならざる嫌ひあり依て稅金は納むるも元來甘諾する能はざる納稅なれば條件付に納稅を諾するの決議をなす筈にてその要項は愼重を加へ宿題として研究し居留民全体の決議をなすべく協議したりと

●平壤手形組合利益 平壤手形組合利益金は當半期の利益金一千三百八十一圓十錢七厘(平壤本所一千六百六十八圓三十八錢八厘鎭南浦支所利益金三百八十五圓四十六錢三厘)前半期繰越金六百七十二圓七十四錢四厘合計二千五十三圓八十五錢一厘にして此內八百六十圓を賞與金に一千百九十三圓八十五錢一厘を後期繰越金としたりと云ふ

●明新女學校の改稱 礴洞明新女學校は韓皇の雅號か明新なるの故を以て今回淑明女學校と改稱し門前の標札は嚴貴妃揮毫されたりと

●憲兵副官事務引繼 駐劄憲兵隊高級副官山形中佐は京城分隊長藥師川少佐と交任されたるは既報の如くなるが愈明日より事務引繼に掛からるゝべしと

●各團隊長の歸任 須永第三十六、香川第十一兩旅團長は十三日斥野第六騎兵聯隊長吉岡步兵第二十五聯隊長河合砲兵大隊長は十四日夫れ〳〵歸任せり

●中央大學晩餐會 在京城中央大學出身者は十三日夜京城ホテルに於て晩餐會を催ふしたるが出席者二十餘名頗る盛會なりと

●山道亞川氏歸京 大韓日報主筆山道亞川子は豫て歸鄕中の處十四日朝歸京したり

●賊徒討伐彙報 黃海道谷山分遣隊上等兵以下五は六月二十四日同地東北約四里の地に於て賊四と衝突之を潰走せしめ銃四を鹵獲す▲忠州大興駐在巡査は六月廿五日夜同郡內に於て賊約二十と衝突其一を捕ふ▲全南挽木場分遣隊下士以下八は六月二十五日同地東南約二里の地に於て賊約四十と衝突之を潰走せしめ賊徒の隱匿せる銃二十三を鹵獲す▲全南和順分遣隊下士以下十二は六月二十七日同地東南三里の地に於て衝突其全部を殪し銃一刀一を鹵獲す▲忠北永春憲兵分遣所上等兵一補助員二は同地警察官と共に六月三十日同郡內に於て二と衝突其一を殪し銃二を鹵獲す

公人私人

▲三浦義源(龍岩浦營林局技師) 十三日入京三日月へ
▲平林勝吉(熊本新聞記者) 同日入京巴城館へ
▲野村元輝(大邱監獄看守長) 三日月に宿中十三日歸邱
▲片瀨勝之助(開城郡參政課囑託) 同日歸任
▲松井勳(咸興警察署長) 同日釜山を經て歸任
▲八木辰馬(仁川郵便局長) 山本へ投宿十三日歸仁
▲近藤寬昇(岡山縣韓國農事獎勵會幹事) 山本へ投宿中十三日密陽へ
▲須永茂議(陸軍少將) 巴城館に投宿中十三日馬山へ
▲我有茂三郎(陸軍步兵大尉) 同上

近事片々

▲伊公● 韓京を去るに際り天候不穩時々盆の覆雨降る天も亦公の去るを惜むの意
▲見送● の爲漢城の諸星仁川に下る假に城は寂寞を極む其狀恰も大風の凪たる如
▲統監● 政治の第二期に入りて漢城の政界何となく暗憺の光景を呈す是れ抑何の徵
▲司法● 權委任說內閣更迭說各部廢合說々として未だ其眞僞を判別する能はざる
▲內閣● に早晩多少の異同あるも事實ならむ軍部の廢止も亦早晩來るべきの事なら
▲梅博● 士の來韓司法權委任は何となく聯せる如く想像さる局外者の注目は當然
▲之が● 先決問題は第三日韓協約なるべ既に協約は大体了せりとの說あり事實に
▲不言● 實行統監政治第二期の初頭多少目すべきの事をなさむ二世統監武者振如
▲鰥物● 師の隊長宋秉畯も近く歸るべく才子の朴泳孝も亦歸らんとす今後の政況如
▲一進● 會は首領李容九の入閣說に聊か氣付く併し早喜びは失望蹉跌の基ならん
▲大韓● 協會も金嘉鎭入閣說に北叟笑む所謂一視同仁なる者か越權前以て御用
▲淸商● 延取引を停止し舊債を責むる極急也爲に韓商の窮迫極度に達す救濟を要
▲現狀● の儘に放任し置けば韓商等踵を接して倒產せむと是れ經濟界過渡のパニツ
▲淸商● が延取引を嚴禁し貸金回收に專努むるは韓國經濟界の險惡なるが爲ぞか
▲財政● 當局者は須く之を顧みて何とか急の策を講ずる必要あり等閑に附す可ら
▲彼の● 觀光團中の親玉閔泳韶は伊公を送り感謝狀を呈し之に一詩を添へたりと云
▲觀善● 驛齋館深衷衛宇內百夏侵大森陪觀地始見我公忠厚心何ぞ其辭の巧妙な
▲韓人● は眞摯なる老人迄が言文共に辭に巧み也何ぞ能く伊公の心事に迎合せる
▲日糖● 舊社長酒匂常明氏有罪と決定し自殺す彼の元兇磯村秋山の徒と雲泥の相
▲長文● なる遺書には武士道を發揮して潔なし人は死して始て其眞價現るとは

●釜山驛長の後任 [illegible]
●募集巡査の選任 內部警務局にて [illegible] の四縣に於て募集 [illegible]

…た現釜山驛貨物主任友永三郎氏は大邱驛に轉じて旅客主任となりたりと

…以て十五日警察官練習所に入所せしむ可き

●配達出拂 午後八時

十三日（華氏）最高温度 八六、五 最低温度 六八、七

相談の相談
（何んでも御相談に應じ升）

◎問 私の良人は本年三十八になりますが茶屋酒を飲みまわりますので困り切つて居ります私も多少教育も受けたものですから意見を種々の方面から試みますが頑として聞き入れませんから故郷の兩親に離縁を請求して呉れと申し送りました所女大學の講義を聴かされる斗りか之れを知つた良人は勝誇つて私の意見なぞは頭から相手に致しませんモウ爭ふ根氣が疲れました一文不通のものなら兎に角新らしい學問まで致した身も猶且つ此れに屈從しなければならんものでしようか（百合の精）

◎答 御尤もの不平の樣にも聞はないでもないが此の文言に依つて推するに貴女も溫和くない樣に思へます、怒つては不可ませんよ、婦人の學問は此の樣な文章を書く爲めに爲るものでない、御良人の茶屋酒に親しまるゝのも貴女に學問が有るからではないかと思はれる、教育を受けたとか學問があるとか云ふことを忘れて總ひなさい、屹度御良人のれ身持ちが直りますよ、學問は飯の菜にはならんと云ふことを御承知になるが宜い、此れが判れば屈從云々は問題にならんです（係）

◎問 私は此の頃の雨で降りこめられて困つて居る勞働者ですが下宿屋の一間の裡で多少には拘はりませぬが出來ます仕事は無いものでございましようか教へ下さい願ひ上げます（勞働者）

◎答 サア、先づ古新聞か反古でも集めて菓子や煎餅の袋でも張つて見たら如何です、今日に限つたことでもないから一つ猶熟考して見ますが差し當り右た答ね申します（係）

●酒匂博士の自殺
▲有罪の決定を憤りて

昨紙東電に見ゆる如く去る十一日の朝七時頃東京麻布區霞町八番地前日糖社長酒匂常明氏の邸に於てズドンと一發怪しき銃聲を聞けるより近傍の人は勿論家人は何事ならんと音響の方を便り車夫部屋に到り見に這は如何や主人常明氏は拳銃を右手に持ち我れと我が頭部を撃ち貫きて倒れ居り四邊に物凄きまでに鮮血迸り居る始末に家人は喫驚仰天し一方應急の手當をなすと共に直に麻布警察署に急報し同署長は間もなく警察醫と共に檢視したるが此の時は早己に絶れ居り銃丸は前額右眉上大約一寸の所より斜に左頭後部に貫通し居たり、同氏が今回の自殺に就きては事不意にして其の原因を知るに由なきも關係友人等の語る所に據れば同氏は例の日糖事件暴露以來常に友人等に對し身は社長の重職に在りながら部下の行爲宜しきを得ず其の監督の責任を盡さず遂に今回の大事件を醸成し天下の大問題となり恥を海外にまで曝したるは社會公衆に對し何とも申譯なく又豫審に於ても自分は一點の疚しき所なきに有罪の決定を受け斯く長き間外出を禁せられある等實に憤慨に堪へずと慨嘆し居りしが十日の夜まで何等精神に異狀なかりしを見れば其の原因は無論日糖事件に關するならんと云ふ

氏は兵庫縣士族にして從四位勳三等農學博士の勤記學位を有し文久元年十一月二十七日を以て同縣に生れ明治十六年農科大學を卒業し農學士及び農藝化學士の稱號を受け翌年駒場農學校の助教授となり農商務省屬を兼任し同二十三年農科大學敎授に任ず之より先歐洲に留學を命ぜられ二十四年歸朝するや農商務省技師を兼ね爾來北海道廳財務部長同殖民事務長農商務書記官同技師を兼任し明治三十二年農學博士の稱號を得生糸檢査所長農務局長を經其の後辭して實業界に入り大日本精糖會社長となりたる也

●泥棒の買つた淫賣婦
▲横着な抱主處分さる

本町一丁目裏通り飲食店營業梅の屋事野村梅次郎（四十）は過般南部署に檢擧されし四名の高麗燒泥棒を登樓せしめ四名の中なる樋口倚義に同店の酌婦横田のぶ（二十）を川村半次に同小池ひめ（二十）を田中辨造に同安富たけ（二十）を藤村常造には同佐々木なみ（二十）を揚げさしめて去月九日より十六日まで居續けせしが當時彼等の犯跡搜査中なりし南部署の長野工藤の二刑事は梅次郎に向ひ今後彼等が立寄りしならば乾度密告すべく申聞けしに同月廿八日彼等は再び同店に來り翌日迄居續けせしに梅次郎は密告處か又も衛を極め込み居たるを此程樋口以下三名の高麗燒窃盜事件の檢擧と共に梅次郎も客を宿泊せしめたる廉を以て告發されしが昨日同署にて一件に付各一圓の科料に處せらる

●馬山病院新築

山紫水明韓國唯一の樂園地として日本に於ける須磨明石に比肩すべき馬山浦に於ては從來保養の爲め轉地せしもの多かりしも設備不完全の爲め大に不便を感ぜしが馬山病院長德永醫學士は之れを遺憾とし前田民長と相謀り馬山浦に於ける最勝の好地をトして完全なる病院を新築せり敷地總坪數千七百餘坪、建坪二百九十坪内本館八十坪にして内科室、外科室大手術室、婦人科室、眼科室、暗室、病理研究室、藥局、事務室、應接室、患者控室、當直室、看護婦室等に區劃し藥局室には藥品貯藏の爲めに地下室を設けあり病室は和洋折衷にして總て一室を八疊敷とし十六室より成る該室は東南に向ひ日光の映射と空氣の流通よく夏は涼しく冬は暖く最も健康に適せり位置は馬山灣に面し眺望絶佳にして患者は横臥して帆船の往復を見る事を得る爲めに病苦を輕快ならしめ庭園は廣濶にして樹木を植栽し患者の神心を慰安せしむ又醫員は院長德永醫學士を始めとし各科熟練なる專門擔當醫を設け患者をして毫末の遺憾なからしむるは天然に於ける馬山の氣候勝景と相俟て比類なしされば愈々多額の費用と時日とを費して遙々歸國せし病者も充分韓土に於て療養し得るに至りしは在韓同胞の爲め至幸と云ふべし

●淫奔娘の家出

仁川警察署に一昨日午後六時頃一人の爺出張し訴ねて曰く私は龍山旭町に居住する小塚鐵太郎と云ふものなるが大事の娘れあや（十六）を足藝師江川萬吉一座の者に引張出されましたから宜ろしく取調べの上御取返しをと願ひ出でたれば警官は同一座に就いて取調べたる所一座員曲藝師大分縣生れの宮迫惣平事江川忠助と云ふが龍山にて興行中れあやと味な情交となり果ては夫婦約束までしたるが其の後は仁川に巡りたるがれあやは忠助等が次ぎの興行地なる大邱に先廻りし居るどのことも判明したれば鐵太郎に右の由を告げ引下らしめたりと

●花月内れ辰

新内の名人として中檢での利物、近來は又義太夫に熱中し居れり年は三十路の上を越した姥櫻、頗る親切なる質とて深く衆妓の尊敬を受け居れり

●大雨被害詳報

咸鏡南道咸興地方に去る十一日來大雨ありて其被害頗る多かるべき旨は昨紙の報導したる處なるが今其被害詳報を聞くに咸興西湖間の輕便鐵道線路に多大の破損あり邑内の浸水家屋は韓人に於て六百二日人に於て四十六にして潰屋四韓人男一名溺死したりと云ふ

●新町遊廓の檢梅

去る十三日定期檢梅の結果前期より引續き入院せるは皆春樓の笑子、夏子第一樓の緋櫻同支店の園枝清月の紫南山樓の衣重の六名にして新に入院せしは山遊樓の駒吉にして全治退院は皆春の小櫻に山遊の愛吉二人なり

●花柳病患者の福音

腦、神經衰弱症及び梅毒、淋病、わきが、皮膚病科の專門として有名なる東京市淺草區馬町廿八番地中央醫院に於ては遠隔患者の便を圖り療養書及び藥劑部發行專門神藥の說明書を頒布すと云ふ故に此際同病患者は病狀を詳記し返信料封入申込むときは意外の福音を得る可し

●京城座の略評

京城座を根城とせる梅花美團の一座は既に五十幾回休みなしの打つ續けであるが仕打梅の家の主人は大黑然たる鼻を蠢かして一千回の祝ひをする迄は玆一寸も動かねへと當座が連日大入りの夏枯れ知ずといふ勢ひはスバラしいものである、兎に角俳優の大氣焔である、成程近頃の大不景氣に獨り車輪なのと直段の安價なのが呼物となりての事なる可し、殊に近頃は出し狂言に注意を拂ひ、母の心、心の影、琵琶歌等の趣味ある家庭劇を演ずることになりたるは賊に喜ぶ可き事なり、僕の行つた時は琵琶歌であつたが例に依り盲評を試みようと思ふ（井奈波）の荒井三藏は近頃にない上出來だと思つた三藏の性格は境遇の上から猜疑心に富だ極く寂しい質であるが優は確かに其性格を顯はして居る、夫れだから手を拍ども喝采する處は少ないが出る度毎に觀客の涙を絞らして居る（橋本）の武田貞次はこれも意外の上出來だつた、此の役も初めは派手で終りが陰氣になるので隨分至難の役である（東）の里野は能く柄に嵌つて居る、勿論優さしい處が優はたしかに仕こなして居た、て惡からう筈はない、然かし神武寺の場にて發狂の動機が少し薄弱ではあるまいかと思つた、次に（青山）の貞次の父は非常に好かつた此の人は何を演らしても味ひのたが、誠に鄰臺が熱心だから一層引き立つて見へる（郡）の禮太は實に好かつた郡の禮太か禮太の郡か判らん位であつた（瀨川）の菊枝孃は別に奇麗であつたといふて演る處はないが實に奇麗であつた海岸の場で木蔭からニュッと出ての見送りは何とも云へぬ立派であつた。今回はまづ此の位で御免を蒙り何れ他の狂言にて細評を呈するとせう（〇△投）

演藝

▲歌舞伎座● 美當一調は引續き大入を占めつゝあるが一昨今夜の讀物は九連城攻擊の續き及び第二回旅順閉塞戰なりと▲京城座● 今明日の替り「想夫戀」にして重なる役割左の如し

中野淸助（青山）小泉修三（伊奈波）一彦（橋本）芳夫（郡）れ王（瀨川）書生狹間（松村）母れ幸（粟部）れ芳（横田）濱子（横山）政子（東）家令遠山（吉野）

●取消● 去る十日發刊の貴新聞に姉妹揃て夫重ねと題したる記事は事實相違致居候條何卒御取消相成度此段御願及候也 七月十三日 原金旅館店員 京城新報社御中

歸敬式
十五日午後二時三十分 長谷川町 本派本願寺

◀平民文庫▶

▲れ菜子君は壯俳橋本義正が惡辣なる手腕を揮ふて諸方面の婦女を弄ひつゝありとか云ふて憤慨せらるゝが右は橋本其者が進んで行ふに非ずして下女や交尾期に入れる娘連が淫賣婦上りの夫人連や尻輕き自から進んで供給するのであるる然れば曲は此れに非ずして彼れにある（誹謗代理人）▲京城の花柳界を通じて第一の美妓は花月の花奴だと云つたからとてなんしたと云ふ譯けではない（東陽）▲れ慕ひなさつたとて毫も差し支へなし御遠慮なく（小僧）▲古谷秘書官は樞密院議長專屬秘書官に轉任せらるゝと云ふに愛媛縣人會は何故送別會を催さゝりしや縣人間に人望がないからかしら（同縣人）▲大雨一過したる後は淸爽なものだ大風の跡は索快なものだ風は凪ぎたる後が快く雨は却つて孟を覆したる如く降つて居る間が快い此れは風は吹いて居る間は不安が伴ふからで雨は降つてる間は直接我々都人士に危懼の念を與へぬからであらうと思ひます（紅）▲首がなくつて美人だか何んだかが何うして判りますか新聞なんてものは好い加減のものだ（阿々子）▲夫れは其の何んですエ、其の何んですから其の何にに聞いて頂きます（小僧）▲故人を評論することは嚴正なれば他は死屍に鞭つものと顰蹙するが此れは東洋流の似非道德だ人は死んでも其の爲したる事業言行には生命があつて後人に影響を及ぼす事は決して尠くない然れば其の非を非とし正を正とし後進に範を示すのは先輩の責務である（小歷史家）▲南大門外の松尾さんと云ふ産婆は非常に親切で嫌味氣のないチョクの人です妻君をれ持ちの方にれ報知せ致します（西大門）▲夏は湯の少し熱い位ひのへ這入らないと垢が取れない樣な氣がします冬は少し溫い位でないと暖まらん（田舍者）▲斯う前統監日和が續きますと私共は困つて仕舞います漢江へでも出掛けるより外策なしだ世の中は厭だく（日備取）

●紳士の遊興振
右は紙面の都合に依り今日休載

廣告

アサヒビール
サッポロビール

マルソイド 新屋根材料 藤原支店 京城永樂町 電話八番九

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せさる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

朝鮮紳士錄
京城理事廳認可 豫約特價金參圓 總クロース金文字入

豫約募集
本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候
登載事項（政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部組合）
申込締切期日 八月十五日
送本期日 九月十五日
發行所 京城西小門通 京城新報社
豫約申込所 本町二丁目 日韓書房／本町二丁目 文林堂／新王城前 盛大林／北署安洞 韓東書館／中署廣橋邊 滙東書館／中署罷朝橋越邊 中央書館／南大門通 義生盛書號
本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓淸英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからさる要書に有之候
豫約募集

日本官製煙草
意匠高尙にして中元等の進物用として無二の佳品
體裁優美にして客室等の備付品として最も好適品
新製 不二 敷島 百本入
東亞煙草株式會社 京城支店

公告
一金三百圓也 當民團立各學校生徒一同
一金二百圓也 郵便貯金獎勵ノ爲
右ハ伊藤公爵閣下ヨリ當民團敎育基金御寄贈相成候ニ付此段公告ス
明治四十二年七月十四日
京城居留民團民長 熊谷頼太郎

店舖至急讓受けたし
營業の大小及場所を問はず成べく秘密を要す直接御申込みあれ
京城長谷川町一丁目
坂本兵太郎事務所（電話千百十四番）

焦心罩志多年爲斯道雖於微業與旨恍然似有得者匪鑒推臆斷暾暾茫洋辭意涸瞞棄面輕蔑也
京城本町五丁目
易斷觀相敎授 通信判斷一件一圓特別二圓
三一舘

自轉車大安賣
角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門通

梅毒皮膚生殖器專門治療 診察無料
梅毒りん病
かんそ よこね 陰莖皮かむり手術
神經衰弱 記憶力減退 陰萎遺精 早漏陰莖發育不充分
皮膚病いんきん たむし ひぜん等
わきが ぢ
東京淺草區馬町廿八淺草橋通停留場横
中央醫院
遠地患者は病狀を記し郵便切手六錢送れば療養書を送り尚は藥劑部發行の專門新藥說明書を送る

各種洗濯石鹼
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛工、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求妻　前途多望の青年月收五〇容色の美醜と貧富を問はず心身の頗る健全にして同情心の篤き淑女を周旋す　姓名在社(二九三)

●事務員　希望知人年二十八多年會社の本店營業部に勤務の經驗あり志想堅實尤も希望的人物薄給にても不苦　姓名在社(二九四)

●專賣特許　飽參用の旅行枕韓國分權の希望者を需む　氏名在社(二九七)

●實用新案　携帶至便の旅行用硯の韓國分權希望者を需む　氏名在社(二九八)

●被雇度　年廿五体強精米業多年經驗京仁間精米所に雇はれたし確實保證人有　氏名在社(二九九)

●中等教育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし　氏名在社(三〇一)

●年卅五多年電氣工務(又簿記精通)の經驗有り市內保證人有り相當處に雇はれたし　氏名在社(三〇二)

●望外人女中　外國人の女中又は小供守に被雇度年廿四体健給料不望　氏名在社(三〇三)

●被雇度　簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舖等被雇度給料不望保證人あり　氏名在社(三〇四)

物件部

●夏向賣店　旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の賣店二箇所あり希望者は至急申込あれ　氏名在社(二九五)

●電話格安賣物あり　氏名在社(二九六)

●電話讓渡　格安又は月賦讓渡の相談に應ず　氏名在社(三〇〇)

廣告

遠近兩用老眼鏡

一つの玉にて掛けた儘遠くも近くも見ゆる故好評無限異に老眼者の福音たり上皇族を始め公爵德川慶喜故野津大將三須海軍中將京都大學毛頭博士白上馬關市長方を始め百五十萬餘の紳士に愛用せらる詳細の說明と正價表は往復はがきにて申込あれ
東京京橋區中橋
眼鏡老舖　金鳳堂

訴訟鑑定願屆申請書類調製
一契約書案作成
一登記登錄證明願手續
一外國旅行劵出願代辨
一官有地貸拂下出願代辨
一諸工事殖林等設計
一土地建物鑛山測量製圖
一田畑宅地鑛山賣買貸借仲介
一電話店舖讓渡仲介
右諸件は堅く秘密を守り誠實に取扱ひ最も迅速に解決可仕候
京城本町一丁目理事廳前通
衛藤事務所

●臺灣總督府專賣局製劑
消毒防臭劑
デシン
奏効確實　用法簡便　無毒安全　價格低廉　藥店ニアリ
藥學博士下山順一郞先生發明
發賣元　神戶　後藤商店
代理店　京城　新井藥房

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目電話三四八番
中村運送店

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計
獨逸國ユンソニャ時計
韓國特約販賣店
スカンジャ自轉車特約販賣店
時計卸商　喜多金光堂本店
仁川本町三丁目　電話七五〇番
時計卸小賣　喜多金光堂支店
京城本町二丁目　電話架設中

土管瓦煉瓦

土管
陶榮商店の販賣する土管は摸範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

瓦
陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦
陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇こする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候
陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌
土管瓦煉瓦販賣元
京城本町二丁目
(肥)陶榮商店
(電話百十三番)

移轉開業
病室設備　入院隨意
本町一丁目(京城郵便局前)
森田醫院
電話九百十三番

東京
百足限り
一圓三十錢　均一
一圓五十錢　同
一圓七十錢　同
賣出し披露の爲來十日より十六日迄均一大安賣
第一回三百張賣切
●第二回二百張限り
無利益元價の
貳拾五錢
此外極上等品種々あり

本店東京
京城大和町一丁目
日の出橋際(取次電話五五)
藤井出張店

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達
委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
出張所　東京京橋區南鍋町一丁目十番地　電話新橋三九六二

婦人良藥
子宮病血の道
月やく不順、產前、產後の諸症にて種々の藥を用ひ、其効なく御困りの人は中將湯を試みよ
CHUJOTO PREPARED BY TSUMURA
中將湯

●如何なる難病も二三週間に全治す
●尚は詳しくは大廣告の節御注意を乞ふ
定價　一日分拾錢　四日分卅五錢　一週間分六拾錢　二週間分壹圓拾錢　三週間分壹圓六拾錢
本店　東京日本橋區通四丁目
支店　大阪大寶寺町堺筋南入
本舖　東京大阪　津村順天堂

純良牛乳
●滋養と牛乳●
●衛生と消毒●
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番

名聲銀牌受領
キリンビール

增築落成御披露
一新座敷落成
一室內裝飾並に設備完全
一諸器具清潔にして御待遇の叮嚀親切は弊店の特色とす
京城永樂町一丁目
待合　嬉野

銘酒
仁川港
釀造元　大森酒場
雪の松
盛花
韓國一手發賣元
京城日の出町一丁目
(電話架設中)
永島商行

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災運送海上保險株式會社
京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九
事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

大中賣出し元
漬物
味噌
醬油
製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

營業種目
農具
農書
種苗
家禽
家畜
秋季營業案内
無代進呈
右御入用の向ば八方ハガキにて御申込あれ
東京內藤新宿
日本種苗[illegible]

京城光化門通
淺田洋服店
店主　大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化　ヂャスタリン
蛋白脂肪消化　ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通
大島專藏

元祖
消毒
殺菌
牛乳・干山牧場
京城大和町壹丁目
電話一三三

牛馬犬豚
治療所(入院隨意)
京城明治町三丁目(電話四二七番)
小川家畜病院
獸醫　小川龜太郎

待合
春日

入院隨意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各科診療

待合
貸席
月の家
本町五丁目三八
電話一〇七四

牛乳
荒井牧場
電話一〇五六

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
仁川海岸通
電話三九番
郡回漕店
貨物及船客取扱店
電話十番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸　八月一日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　八月五日正午時出
●大連、太沽、牛莊行
山東丸　七月二十日午前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　七月二十二日正午
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行
立神丸　七月二十八日午後
御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　一枚金二錢　一ヶ月前金卅五錢　三ヶ月前金壹圓　六ヶ月前金武圓　郵稅一ヶ月金
●廣告料　五號活字十九字詰一行金　五號活字十九字詰一行金
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城　京城新報社